

医療法人社団 広恵会 春山記念病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5

TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021

https://www.haruyama-hosp.com e-mail : info@haruyama-hosp.com

膝半月板損傷について

整形外科

佐藤 達夫

膝を捻った後から膝の痛みが続く時は、膝の半月板を損傷している場合があります。膝の半月板というのは、膝の関節の骨と骨（大腿骨と脛骨）の間の継ぎ目にあるくさび状の、ゴムのような硬さのものです。

その役割は、体重をかけた際に、膝にかかる負担を分散させる一種の座布団のようなものです。ですから、半月板が損傷すると、座布団が壊れた状態で正座しているようなものですので、やがて膝の軟骨が壊れてきて変形性膝関節症になってしまいます。

変形性膝関節症になってしまうと、日々の歩行や階段の上り下りなど日常生活に支障を来してしまいます。

そうすると人工関節の手術が必要になることもあります。軟骨は一度壊れてしまいますと、修復が難しいので、壊れないような予防が大切です。

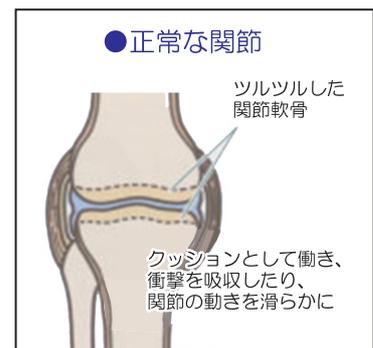
そのためにも、損傷した半月板を治すことは、大切です。半月板の損傷は、MRIを撮ることにより分かります。半月板損傷が見つかった場合、痛みが強く歩行に支障を来していたり、膝が伸びなかったり曲がらない場合には、関節鏡による手術が必要になることもあります。

大多数は半月板をできるだけ温存できるように、縫合します。縫合するということは、損傷して間もない方がよく治ります。縫合方法は半月板を糸で縫い合わせます。

傷口は5mm程度が2か所ほどで、ほとんど目立ちません。

当院でも多くの半月板縫合術を行ってまいりましたが、大きな合併症もなく、ほとんどの方が損傷前に近い状態で、スポーツや日常生活に復帰なさっております。

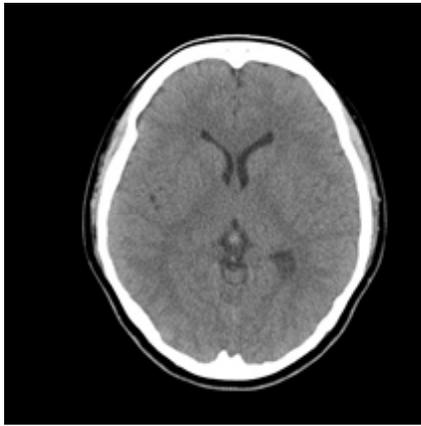
ですから、膝を捻った後から膝の痛みが続く時は、是非当院にお越しのとき、整形外科を受診して、MRIを撮影してみることが、長い人生を自分の膝で歩いてゆくために重要なことだと確信しております。



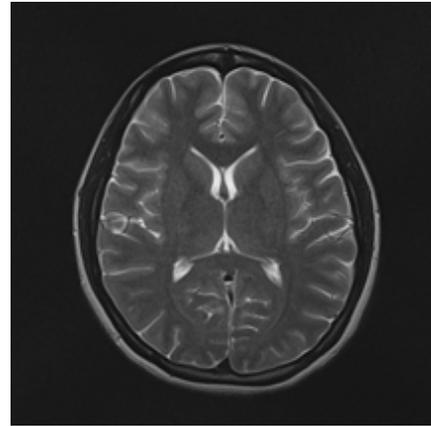
CT検査とMRI検査

違いは、分かりますか？

「CTとMRIの違いは？」と患者さまに聞かれることがよくあります。一見すると装置の外観も似ていますし、検査結果で目にする画像も白黒で体の断面が表示され、同じように見えてしまいます。いったいどのような違いがあるのでしょうか。



←CT画像



MRI画像→

CT検査とは

X線を用いて人体の断面をコンピュータによって画像にする装置です。そのため、X線を使うため被ばくをしてしまうという欠点があります。しかし、検査時間が非常に短く、造影剤を用いない単純撮影なら5分未満、造影剤を用いる検査でも15分程度で検査が終わることがほとんどです。その中でも実際の撮影時間は10秒～数十秒ほどのことが殆どです。

検査をする時に必ずしも着替えたりする必要がなく、例えば頭部のCT検査を行う場合は時計などはしているままで全く問題ありません。当院では、予約は必要なく、診察時すぐに検査を行うことが可能です。

MRI検査とは

強い磁石とRFパルスといわれる電波を用いて人体の断面を画像にする検査です。体内の水素原子核を磁場と電波の力を用いて、その状態を画像にします。放射線（X線含む）を使用しないため被ばくをしません。

検査時間が長く、比較的短時間で終わる検査でも15分程度、通常の場合30分近く検査時間がかかります。検査中は「コンコン、コンコン」という音がします。うるさいなと思うことはありますが聴覚に影響が出るような大きさではないので安心してください。不安な場合は検査の際に申し出ただけであれば耳栓を用意しております。

また、検査には着替えが必須で、特に金属類（時計やアクセサリ類）や、携帯電話、クレジットカードなどの磁気カードは火傷や破損につながります。当院では、予約検査とさせていただきます。ただし予約が空いていれば当日検査することも可能です。

CTとMRIではどちらがより詳しく検査ができるのか

これもよく患者さまから聞かれることの一つですが、被ばくや検査時間を除いても検査の質に優劣をつけることができません。それぞれの患者さまの病態に合わせて、検査方法を医師が考えてオーダーを出します。



2019年1月～2019年6月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
外来患者延べ数	5,144	4,698	5,188	5,334	5,238	5,146	30,748
入院患者延べ数	2,981	2,731	2,979	2,746	2,510	2,609	16,556
搬送救急車台数	347	316	347	352	354	393	2,109
手術件数	132	111	134	132	127	134	771

消費税増税について

10月1日の消費税率の引き上げにより、当院における保険外料金については消費税率10%で計算させていただくようになります。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、同時に診療報酬の改定があるため、医療費のお支払いも変更となります。

春山記念病院の理念と基本方針

病院理念

・ 安心で信頼される急性期医療 ・ 治療の継続性を目指した回復期医療 ・ 共に歩む医療

基本方針

1. 急性期疾病と救急医療にあたる地域の中核病院として、常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供します。
2. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を図り、適切な医療サービスを提供できるよう努めます。
3. 急性期から回復期リハビリテーションへの円滑な移行を通じて治療の継続性を目指します。
4. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼関係のもと安全で納得のできる医療を確保するため、患者の皆様自らにさまざまな医療の現場で診療に積極的に参加していただき、より良きパートナーシップを構築するよう心がけます。
5. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。
6. 地域の医療・福祉機関等と密接に連携を図り、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
7. スタッフと病院がともに発展できる、働き甲斐のある職場を目指します。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平日 9:00～17:00

土曜日 9:00～16:00

CT、MRI検査や脳波検査などお電話で受付いたします。

TEL : 03-3363-1661 (代表)

《受診及び入院依頼》

外来受診や当院への転院のご相談は地域連携室担当スタッフが承ります。

診療時間外の受診・入院依頼は、救急対応スタッフが承ります。

左記の番号へご連絡下さい。